

リーディングDXスクール事業【AIパイロット校】

幸手市立幸手中学校（埼玉県）【指定校】

＜校務利用＞ 文書作成や研修におけるパートナーとしての活用

もっと広めよう！ ～研修会・自学自習への活用～

- ・幸手市が開催する教員や生徒向けの研修へ参加し、集会や授業の中でその技術を広めた。さらにそれらの研修に参加した生徒が、地域住民に対して幸手市が実施する生成AI活用講座へアシスタントとして運営に参加し良き使い手として活躍した。
- ・5年経験者授業研究会において、本校に来校された他校の教員へ生成AIを活用した授業の公開。
- ・受験勉強（学び直し）において、英語では一口日記の添削や3年間総まとめ英作文例文を作成させた。その際個人情報に配慮しつつ自分をバックグラウンドにしたプロンプトを用いて生成した。



【見られた効果】

- 生徒が具体的に活動している姿を参観することで、他市や異校種の先生にも活動の様子を目の前で確認でき、効果を実感してもらうことができた。
- 生徒が主体的に当事者意識を持って、良き使い手として地域に発信できた。
- 英作文課題において、自分で考えた言葉や使った単語から生成されているため、生徒は容易に取り掛かることができた。また世界で1つの例文集であり、自分のことが話題となっているため、当事者意識をもちながら学習への意欲を高めることができた。
- タイムパフォーマンスが高いため、短時間自習が実施可能である。自分の立てた計画に基づき、自学自習の態度の育成に貢献している。（研修アンケートの感想より）

＜教育利用＞ 多面的かつ多角的に資料を整理・分析するパートナーとしての利活用

本当にそう？それでいい？～道徳・学活～

- ①Excelシートにチャット形式で意見をどんどん入力する。
- ②入力された意見をCopilotに分析・提案させる。
- ③自分たちの意見が適確に分析されているか、自分たちでチェックする。
- ④違っていれば
 - ・プロンプトを変えて再び分析
 - ・自分たちで見直し、易しい内容や壁打ち対話の中で修正

- ①資料をCopilotに読み込ませることで、資料のイメージを画像で提供させ、さらに話し合いの柱を提案させる。
- ②話し合いの柱についてCopilotから提案させ、それについて自分たちで吟味し、そのことについて班で話し合う。
- ③自分たちが話し合った内容についてCopilotに分析させ、改めて自分たちでふり返しを行う。



【見られた効果】

- 自分たちの意見を分析させることで、ハルシネーションを実感できた。
- プロンプトにより分析結果が異なることを実感でき、より効果的なプロンプトを再考する場になった。
- タイムパフォーマンスが向上し、情報収集→分析→まとめ・アウトプットが50分の時間内で効率よく実施することができた。